

Kofax TotalAgility

MFP スタート パック スタート ガイド

バージョン: 7.9.0

日付: 2021-04-07

KOFAX

© 2021 Kofax. All rights reserved.

Kofax is a trademark of Kofax, Inc., registered in the U.S. and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners. No part of this publication may be reproduced, stored, or transmitted in any form without the prior written permission of Kofax.

目次

序文.....	4
Kofax TotalAgility の概要.....	4
オンプレミス マルチテナント.....	4
関連ドキュメント.....	4
トレーニング.....	6
Kofax 製品のヘルプの入手.....	6
第 1 章: MFP スタート パックの概要.....	7
第 2 章: MFP スタート パックのインポート.....	8
MFP スタート パックのインストール フォルダ.....	8
MFP スタート パックのインポート.....	9
第 3 章: MFP スタート パックのコンポーネント.....	10
カテゴリ.....	10
プロセス.....	10
フォーム.....	11
エクスポート.....	13
サイト.....	13

序文

このガイドでは、Kofax TotalAgility を使用して MFP スタート パックをインポートして処理する方法について説明します。

Kofax TotalAgility の概要

Kofax TotalAgility は、重要なビジネス インタラクションを変換および簡素化するスマート プロセス アプリケーション (SPA) プラットフォームです。TotalAgility を使用して、継続的に改善を進めるビジネス プロセスを設計、開発、およびデプロイすることで、顧客エンゲージメント、プロセスの実行効率、ビジネスの俊敏性が向上します。

TotalAgility は、マルチチャネル情報キャプチャ、ビジネス プロセス管理、適応型ケース管理、モバイル機能を備えた単一の結合型製品です。

TotalAgility は、Kofax Insight、RPA、Kofax SignDoc、および Kofax Communication Manager の各種製品との事前構築された統合を通じて、ビジネス インテリジェンス (BI) と分析、高度なデータ統合、電子署名機能をサポートします。

オンプレミス マルチテナント

オンプレミス マルチテナント バージョンの TotalAgility では、共有サービス センター (SSC) およびビジネス プロセス アウトソーサー (BPO) からソフトウェア/ソリューションを顧客ベース (テナント) に提供できます。このバージョンには、以下が含まれています。

- テナント管理システム (テナントの作成および管理用)
- ライブ (本番) 環境
- 開発環境

オプションのオンプレミス マルチテナント バージョンの TotalAgility を活用すると、すべてのテナントにサービスを提供するソフトウェアの単一インスタンスを展開して、各テナントの独自のデータ セットを他のすべてのテナントのデータから隔離したままにできます。

関連ドキュメント

Kofax TotalAgility の完全なドキュメント セットは、次の場所で入手できます。

<https://docshield.kofax.com/Portal/Products/KTA/7.9.0-ud9cfx6hos/KTA.htm>

このガイドのほか、ドキュメント セットには次の項目が含まれています。

- Kofax TotalAgility 前提条件ガイド: TotalAgility をインストールするためのシステム要件、前提条件ユーティリティの実行手順、およびさまざまなインストール タイプのソフトウェア チェックリストを説明します。
- Kofax TotalAgility インストール ガイド: TotalAgility をインストールし構成する方法について説明します。
- Kofax TotalAgility 統合サーバー インストール ガイド: Kofax 統合サーバーをインストールし、他の製品と結合する方法について説明します。
- 『Kofax TotalAgility オンプレミス マルチテナント インストール ガイド』: オンプレミス マルチテナント システムのインストールおよび構成方法について説明します。
- Kofax TotalAgility 構成ユーティリティ ガイド: 構成ユーティリティを使用して、さまざまなタイプのインストールおよび展開の各種構成ファイルの設定を更新する方法について説明します。
- Kofax TotalAgility 管理者ガイド: TotalAgility インストールの構成および保守に関する情報を管理者に提供します。
- Kofax TotalAgility アーキテクチャ ガイド: オンプレミス、オンプレミス マルチテナンシー、Azure 環境のさまざまな展開を含む、TotalAgility アーキテクチャの概要について説明します。
- Kofax TotalAgility ベスト プラクティス ガイド: TotalAgility を使用してパフォーマンス、コスト、メンテナンス、可用性、およびセキュリティを改善する場合に従う必要があるベスト プラクティスについて説明します。
- Kofax TotalAgility 移行ガイド: 異なるバージョンからの TotalAgility アップグレードおよびアップグレード後の構成に関する情報を説明します。
- Kofax TotalAgility のヘルプ: TotalAgility を使用してビジネス ジョブとケースを設計し、リソースを割り当て、フォームを作成し、外部アプリケーションと結合するなどの詳細を説明します。TotalAgility アプリケーションから [ヘルプ] ボタンをクリックすることで、ヘルプにアクセスできます。
- Kofax TotalAgility Workspace のヘルプ: Workspace を使用してアクティビティ、ジョブ、およびリソースを管理する方法について説明します。TotalAgility Workspace からヘルプにアクセスするには、[ヘルプ] ボタンをクリックします。
- Kofax TotalAgility オンプレミス マルチテナント システムのヘルプ: TotalAgility オンプレミス マルチテナント システムを使用してテナントを作成および管理する方法について説明します。
- Kofax TotalAgility Web Capture コントロール ヘルプ: Web Capture コントロールを使用した、複数ページのドキュメントの作成、新しいフォルダでの新しいドキュメントの作成、誤ってスキャンされたページの削除などに関する詳細を提供します。また、Web Capture コントロール ツールバーで使用可能なボタンについても説明します。
- Kofax Analytics for TotalAgility 製品機能ガイド: ワークフローを通過するデータの追跡、プロセスとリソースの有効性の分析、ビジネス上の問題への対処に役立つダッシュボードの概要について説明します。
- Kofax TotalAgility テーブル: Kofax Analytics for TotalAgility で使用される Kofax TotalAgility テーブルおよびフィールドについて説明します。
- Kofax 製品からの移行ガイド: TotalAgility ファイルと Kofax 変換モジュール プロジェクトの TotalAgility への移行に関する情報を説明します。

トレーニング

Kofax は、製品を最大限に活用するために役立つクラスルーム トレーニングおよびオンライン トレーニングを提供しています。トレーニング コースとスケジュールの詳細については、Kofax の Web サイトにある [Kofax Education Portal](#) (Kofax エデュケーション ポータル) にアクセスしてください。

Kofax 製品のヘルプの入手

[[Kofax Knowledge Base](#)] (Kofax ナレッジ ベース) リポジトリにある記事の内容は定期的に更新され、Kofax 製品の最新情報について参照できます。製品に関してご不明の点がある場合は、Knowledge Base (ナレッジ ベース) で情報を検索することをお勧めします。

[Kofax Knowledge Base] (Kofax ナレッジ ベース) を参照するには、[Kofax Web サイト](#) にアクセスして、ホームページで [サポート] を選択してください。

注 Kofax Knowledge Base (Kofax ナレッジ ベース) は Google Chrome、Mozilla Firefox または Microsoft Edge 向けに最適化されています。

[Kofax Knowledge Base] (Kofax ナレッジ ベース) は以下の内容を提供します。

- 強力な検索機能で必要な情報をすぐに見つけることができます。
[**Search**] (検索) ボックスに目的の語句を入力し、検索アイコンをクリックしてください。
- 製品情報、設定の詳細、リリース情報などのドキュメント。
[Kofax Knowledge Base] (Kofax ナレッジ ベース) のホームページをスクロールして、製品ファミリーを見つけます。目的の製品ファミリー名をクリックして、関連記事の一覧を表示します。一部の製品ファミリーの場合は、関連記事を表示するために Kofax Portal (Kofax ポータル) の有効なログイン情報を入力する必要があります。
- [Kofax Customer Portal] (Kofax カスタマー ポータル) へのアクセス (資格のあるカスタマー向け)
ページ上部にある [**Customer Support**] (カスタマー サポート) リンクをクリックしてから、[**Log in to the Customer Portal**] (カスタマー ポータルにログイン) をクリックします。
- Kofax Partner Portal (Kofax パートナー ポータル) へのアクセス (資格のあるパートナー向け)
ページ上部にある [**Partner Support**] (パートナー サポート) リンクをクリックしてから、[**Log in to the Partner Portal**] (パートナー ポータルにログイン) をクリックします。
- Kofax サポート コミットメント、ライフサイクル ポリシー、電子フルフィルメントの詳細、セルフサービス ツールへのアクセス。
[**General Support**] (一般サポート) セクションまでスクロールして、[**Support Details**] (サポートの詳細) をクリックし適切なタブを選択します。

第 1 章

MFP スタート パックの概要

MFP スタート パックは、定義済みコンポーネントを含むサンプル パッケージです。Lexmark MFP でドキュメントをスキャンして TotalAgility に送信するためのフォームとプロセスを作成する際に、このコンポーネントを使用できます。これらのコンポーネントを使用すると、cSF アプリを展開して登録し、MFP の画面のサイズに基づいてさまざまな画面サイズで表示することができます。cSF クライアントおよびデバイスでサポートされている画面サイズについては、Lexmark MFP に付属のドキュメントおよび Lexmark MFP 向けの Kofax TotalAgility 管理者ガイドを参照してください。

MFP スタート パックには、次のコンポーネントが含まれています。

- ログオン (シングル サインオンを含む)、ドキュメントのスキャン、ドキュメント キューの表示を行うためのオプションが配置された、MFP 画面に表示されるフォーム。
- ドキュメントのスキャンと送信、ドキュメントの現在のジョブへの追加、スキャン結果の表示を行うためのプロセス マップ。
- キャプチャ スタート パックのコンポーネント (MFP を使用してテストできるようにするため)。これらのコンポーネントの詳細については、『Kofax TotalAgility キャプチャ スタート パック スタート ガイド』を参照してください。

MFP スタート パックを操作するプロセスに慣れたら、TotalAgility 環境内でカスタマイズできます。

MFP スタート パックを使用するには、次の手順を実行します。

1. TotalAgility Designer と一緒に Workspace パッケージがインストールされていることを確認します。
Workspace パッケージは、TotalAgility フォルダ内にあります。
2. Lexmark MFP でクライアント アプリをセットアップし、構成します。手順については、Kofax TotalAgility Lexmark MFP 管理者ガイドを参照してください。
3. TotalAgility Designer に MFP スタート パックをインポートします。インポート後、パッケージの一部の機能には追加の構成が必要になる場合があります。
4. テストのためにサンプル ファイルを印刷します。フォルダは TotalAgility のインストール場所に配置されています。
 - MFP Starter Pack Package.zip の場合は、Sample Processes\MFP Starter Pack\Sample Images 内のファイルを使用します。
 - MFP Starter Pack Package - Japanese.zip の場合は、Sample Processes\MFP Starter Pack\Sample Images - Japanese 内のファイルを使用します。

これらのイメージを 600 dpi で印刷します。

5. 正しく抽出されるようにするには、イメージを 200 dpi でスキャンします。

第 2 章

MFP スタート パックのインポート

この章では、MFP スタート パックをインポートする方法について説明します。インポートされたファイルとパッケージ コンポーネントのリストが含まれています。

MFP スタート パックのインストール フォルダ

MFP スタート パックは、次の Kofax TotalAgility インストール ディレクトリにインストールされています。

```
\\TotalAgilityInstall\Sample Processes\MFP Starter Pack
```

このフォルダには、次のアイテムが含まれています。

- MFP Starter Pack Package.zip
- MFP Starter Pack Package - Japanese.zip
- Sample Images: このフォルダには、次のイメージが含まれています。
 - Order 1.tif
 - Order 2.tif
 - Order 3.tif
 - Order 4.tif
 - Order 5.tif
 - Trispec 1.tif
 - Trispec 2.tif
 - Trispec 3.tif
 - Trispec 4.tif
- Sample Images - Japanese: このフォルダには、MFP Starter Pack パッケージ - 日本語パッケージで使用される次のイメージが含まれています。
 - Order 1.tif
 - Order 2.tif
 - Order 3.tif
 - Order 4.tif
 - Order 5.tif
 - Trispec 1.tif
 - Trispec 2.tif
 - Trispec 3.tif
 - Trispec 4.tif

MFP スタート パックのインポート

1. **[TotalAgility Designer]** を起動します。
2. メイン メニューで **[インポート]** をクリックします。
[インポート] ページが表示されます。
3. **[インポートするファイル]** で、**[参照]** をクリックします。
[アップロードするファイルの選択] ウィンドウが表示されます。
4. MFP スタート パック フォルダに移動し、**[MFP Starter Pack Package.zip]** または **[MFP Starter Pack Package - Japanese.zip]** を選択して、**[開く]** をクリックします。
パッケージ内のファイルがインポートされて、[インポート] ページに一覧表示されます。
5. インポート オプションはデフォルト設定のままにします。
デバイス設定をパッケージの設定で上書きする場合は、**[上書きオプション]** で **[デバイス]**、**[デバイスプロファイル]**、および **[デバイス設定]** をオンにします。
すべてのデバイス データがインポートされて、上書きされます。このオプションがオフの場合は、システム上にないデバイスのみがインポートされ、既存のデバイスは変更されません。

注 デバイス設定は、パッケージ設定の **[展開の構成]** で定義されます。上書きする設定を選択できません。詳細については、TotalAgility Designer のヘルプを参照してください。
6. **[インポート]** をクリックします。
インポートが成功したことを確認するメッセージが表示されます。次の点に注意します。
 - コンポーネントがすでにインポートされていることを示す警告が表示される場合があります。これらのメッセージは予期されたものであり、無視できます。
 - 他のエラーまたは警告が表示された場合は、続行する前に解決してください。
7. **[OK]** をクリックし、もう一度 **[OK]** をクリックします。

第3章

MFP スタート パックのコンポーネント

このセクションでは、MFP スタート パックを TotalAgility にインポートするときに利用可能なパッケージの定義済みコンテンツについて説明します。

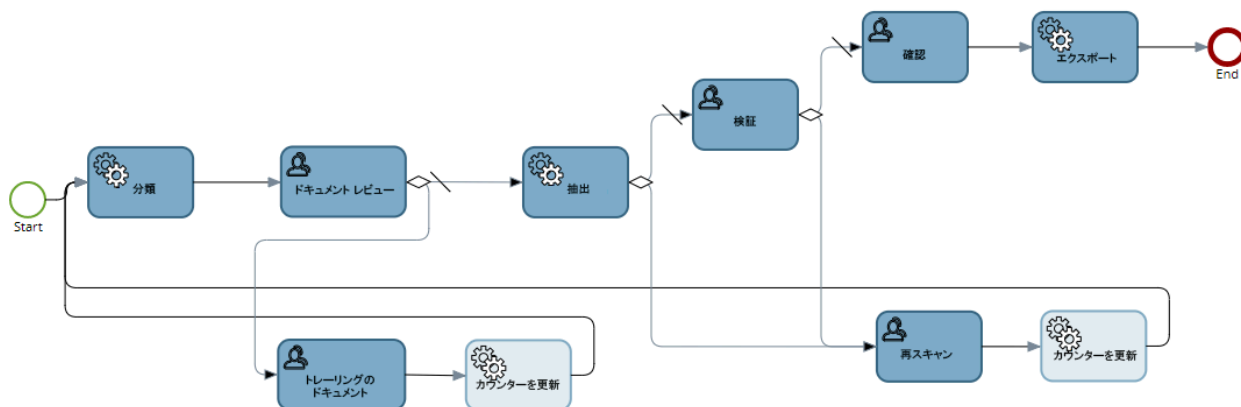
カテゴリ

MFP スタート パックで使用されるコンポーネントが [MFP スタート パック] カテゴリに追加されます。

プロセス

この図は、MFP スタート パック プロセスのワークフローを表しています。このプロセスを開くには、次の手順を実行します。

1. TotalAgility Designer の中の、[ワークフロー] > [ビジネス プロセス] を選択します。
2. カテゴリ リストで、[MFP スタート パック] を選択します。
3. ビジネス プロセスのリストで、[MFP スタート パック] をクリックします。



このプロセスには、次のアクティビティが含まれます。

- 分類
- ドキュメント レビュー
- 抽出
- 古いバージョンのドキュメント

- 検証
- 再スキャン
- 確認
- エクスポート

アクティビティは、MFP で実行されるアクティビティと、TotalAgility Workspace で実行されるアクティビティがあります。

分類

MFP でドキュメントがスキャンされると、Sample Processes\MFP Starter Pack\Sample Images または Sample Processes\MFP Starter Pack\Sample Images - Japanese フォルダのサンプル画像に基づく分類アクティビティで処理されます。

ドキュメント レビュー

分類後、ジョブは、TotalAgility Workspace で実行されたドキュメントのレビュー アクティビティに送信されます。

- ジョブが拒否された場合、またはドキュメント数が 3 件未満の場合には、そのドキュメントは MFP のトレーニング ドキュメント アクティビティに送信され、ユーザーはドキュメントをジョブに追加します。ドキュメントの追加の後、ジョブは分類とドキュメント レビューに戻ります。
- ドキュメント レビューでジョブが受け入れられると、TotalAgility Workspace で実行される Extraction (抽出) に移動します。

抽出

抽出されたジョブは、拒否または承諾されます。

- 拒否されたジョブは、MFP の再スキャン アクティビティに移動し、ユーザーはドキュメントを再スキャンできます。
- 承諾されたジョブは、TotalAgility Workspace で検証が行われます。

検証

ジョブの検証では、拒否または承諾することができます。

- 拒否されたジョブは、MFP の再スキャン アクティビティに移動し、ユーザーはドキュメントを再スキャンできます。
- 承諾されたジョブは、TotalAgility Workspace で検証が行われます。

確認

検証されると、エクスポートが実行されます。

エクスポート

分岐ルールを設定できます。詳細については、このガイドの [エクスポート](#) セクションと『TotalAgility のヘルプ』を参照してください。

フォーム

MFP スタート パックには、次のフォームが含まれています。

名前	説明
MFP スタート パック_デバイス スキャン	MFP またはモバイル デバイス用の [デバイス新規ジョブ作成] フォーム。
MFP スタート パック_ドキュメント レビュー_ドキュメント レビュー	インポート コネクタおよび Capture Client 用の [スキャン新規ジョブ作成] フォーム。
MFP スタート パック_MFP スキャン	ジョブ シリアル番号の単一の入力フィールドを持つフォームをスキャンします。デバイスのボタンを使用してスキャンします。
MFP Starter Pack_Rescan_Scan	ドキュメントを再スキャンする必要があるときに表示されるフォーム。ジョブのシリアル番号とインストール先フォルダの2つの入力フィールドが含まれています。ボタンを使用して、ページをスキャンするか、ジョブをキャンセルします。
MFP Starter Pack_Trailing Document_Scan	トレーニング ドキュメントを既存のジョブに追加できるフォーム。ジョブのシリアル番号とインストール先フォルダの2つの入力フィールドが含まれています。ボタンを使用して、ページをスキャンするか、ジョブをキャンセルします。
MFP Starter Pack_Validation_Validation	検証のためのアクティビティ フォーム。
MFP Starter Pack_Verification_Verification	確認のためのアクティビティ フォーム。
MFPFederatedLogon	フェデレーション セキュリティでログオンするときに使用するフォーム。
MFPForgotPassword	パスワードを忘れた時にリセットするために使用するフォーム。ユーザーは、パスワードをリセットするためのリンクを受け取るために、アカウントに関連付けられた電子メール アドレスを入力するように求められます。
MFPLanding	Lexmark 登録クライアントに登録するためのフォーム。ユーザーがシングル サインオンで認証されたときに、メッセージ「Loading」を表示してから、MFPLogon フォームにリダイレクトしてログオンするか、MFPWorkQueue にリダイレクトします。
MFPLogon	アプリケーションにログオンするためのフォーム。
MFPWorkQueue	作業キューとショートカットの2つのタブがあるフォーム。既存のキュー内のジョブを表示するか、新しいジョブを作成するショートカットを選択できます。

パッケージをインポートすると、これらのフォームはカスタマイズ用 TotalAgility で利用可能になります。

フォームを開くには、次の手順を実行します。

1. TotalAgility Designer の中で、[ユーザー インターフェイス] > [フォーム] を選択します。
2. フォームのリストで、開くフォームをクリックします。
新しいブラウザ タブでフォームが開きます。

これらの生成されたフォームは動的であるため、設計時にフィールドは表示されません。

スキャン フォームには次のオプションがあります。手順の TotalAgility Designer のヘルプを参照してください。

- スキャン フォームで、画像のプレビューを表示できます。このプレビューは、TotalAgility Designer の対応するフォームのスキャンアクションで有効または無効にできます。
- [アップロードおよび進行ジョブ] オプションを使用して、現在のジョブがサーバーへの画像のアップロードを完了する前に、別のジョブを開始できるようにします。
- スキャンアクションの場合、ScanFailed イベントのオプションを設定することにより、スキャンが失敗した後の動作を制御できます。MFP Starter Pack_MFPScan で開始されたスキャンの場合、ジョブを終了し、作業キューの先頭にリダイレクトして戻すことができます。MFP Starter Pack_Trailing Document_Scan および MFP Starter Pack_Rescan_Scan の場合、失敗したスキャンをキャンセルして、作業キューの先頭にリダイレクトすることができます。

エクスポート

インポートされたパッケージの MFP スタート パックプロセスには、エクスポート アクティビティが含まれています。このプロセスを使用してジョブを作成すると、適切な Kofax エクスポート コネクタがインストールされていない限りジョブは実行されません。コネクタをインストールし、[エクスポート コネクタ - セットアップ] 画面を使用して、MFP スタート パック プロセスで使用するコネクタを構成します。

注 エクスポート アクティビティは、Azure 環境ではサポートされていません。エクスポート アクティビティがあるプロセスでジョブを作成すると、ジョブはエラーになり一時停止します。

サイト

MFP スタート パックには、次のサイトが用意されています。このサイトはさまざまなサイズの MFP パネルに対応していて、各サイズの英語版と日本語版が用意されています。

説明	英語サイト	日本語サイト
中型 MFP パネル用。8 ポイントのテキストを表示します。	MFPMediumScreen	MFP 中型画面
大型 MFP パネル用。11 ポイントのテキストを表示します。	MFPLargeScreen	MFP 大画面

注 Lexmark 登録ツールで登録すると、サイト名に含まれるスペースは自動的にエスケープされます。

TotalAgility Designer のヘルプに示されているように、サイトとテーマをカスタマイズできます。

Lexmark Registration Client でクライアント アプリの URL を提供する場合は、次のようにサイトを含めます。

- 英語サイト:

```
https://<server>/TotalAgility/Forms/<site>/MFPLanding.form?
FormTargetDevice=Tablet
```

- 日本語サイト:

```
https://<server>/TotalAgility/Forms/<site>/MFP ランディング.form?  
FormTargetDevice=Tablet
```

<server> は TotalAgility サーバーの名前で、<site> は選択されたスクリーンのサイズのサイトの名前です。URL からサイトを省略すると、デフォルトのテーマが使用されます。たとえば、日本語サイトで中サイズのパネルを使用している場合、URL は次のようになります。

```
https://<server>/TotalAgility/Forms/MFP 中型画面/MFP ランディング.form?  
FormTargetDevice=Tablet
```

この URL に接続して、次のような操作を行ってください。

- Lexmark 構成クライアントで構成されたサイトが選択されます。手順については、Kofax TotalAgility Lexmark MFP の管理者ガイドを参照してください。
- シングル サインオンを使用して MFP に正常にログオンすると、MFPWorkQueue フォームが開きます。ログオンする必要がある場合は、MFPLogon フォームが開きます。